

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年02月09日

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	蕨市												
計画の目標	駅前広場、区画街路の拡幅に合わせ、シェルター等の設置を含めた歩行者空間の充実など、ユニバーサルデザインに配慮した整備により、安全性や利便性、快適性の向上を図るとともに、先行工区である蕨駅西口地区7番街区に連続するプロムナードを中心に、公共公益施設、商業施設及び都市型住宅が調和した魅力ある空間を形成し、居住人口の定着を図り、にぎわいの創出、新たなコミュニティの形成につなげ、蕨の玄関口の再生と魅力づくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,003	A	1,003	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)		(R7末)
1	居住人口を4283人から5043人に増加 事業地区を含む周辺(中央1丁目)に居住する人口の統計により算定する。	4283人	人	5043人
2	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する満足率を20.8%から30.0%に増加 市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合により算定する。	208%	%	300%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	蕨市	間接	市街地再開発組合	—	—	蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業	商業、公益施設、住宅等 約1.3ha	蕨市	■	■	■	■		858	1.30	—		
												小計						858			
道路事業	A01-002	街路	一般	蕨市	間接	市街地再開発組合	市町村道	改築	蕨駅西口地区(蕨駅西口広場)	駅前広場整備 約5,100㎡	蕨市					■	145	1.30	—		
												小計						145			
											合計						1,003				

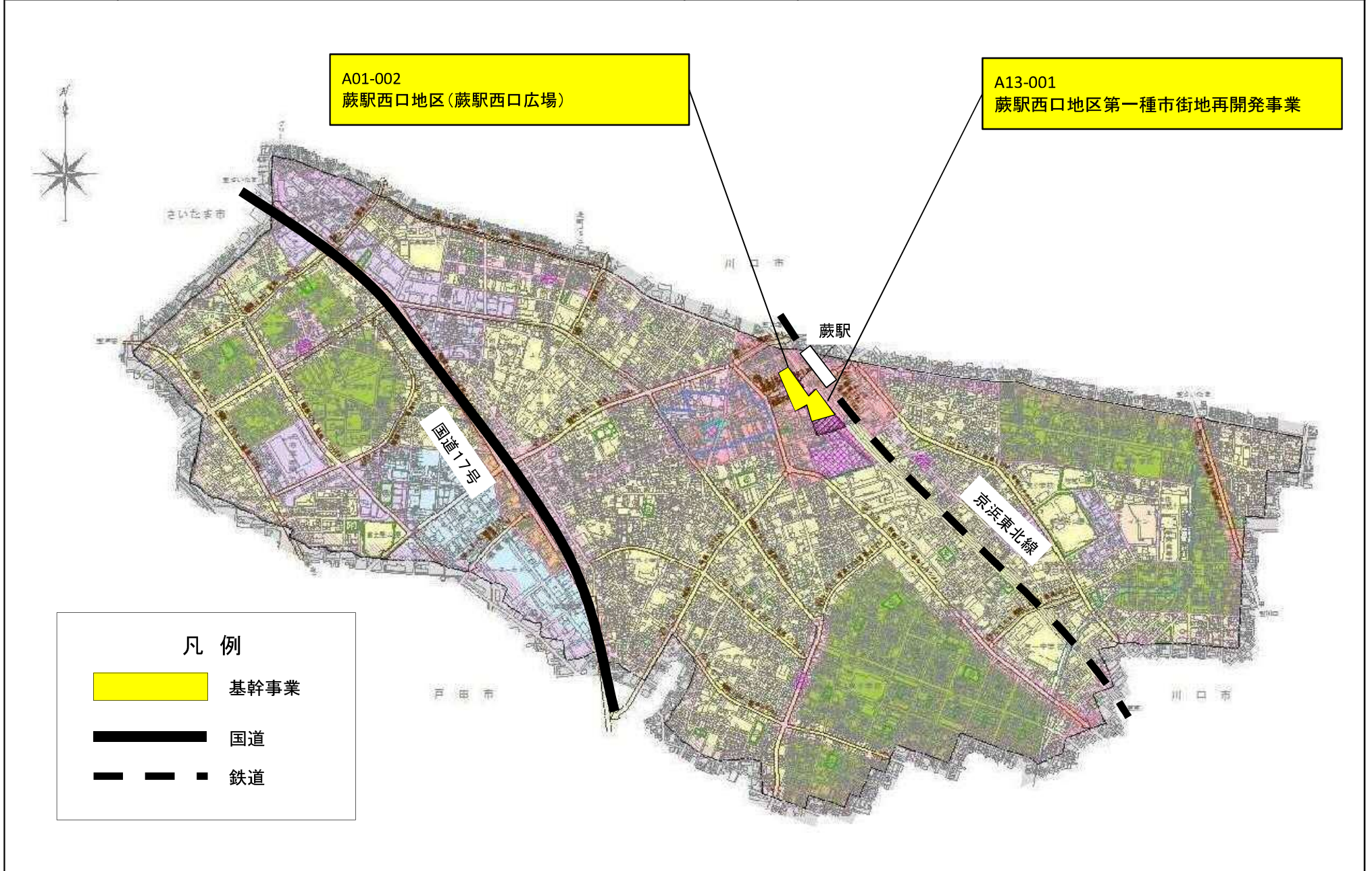
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	41	61	184	8	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	41	61	184	8	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	61	245	
支払済額 (e)	41	0	0	61	
翌年度繰越額 (f)	0	61	245	192	
うち未契約繰越額 (g)	0	61	184	8	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	100	75.1	3.16	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		事業計画の策定及び組合設立の同意取得に不測の日数を要したため。	新型コロナウイルスの影響により、説明会開催時期の調整について、不測の日数を要したため。		

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画	交付対象	蕨市
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）		



凡例

- 基幹事業
- 国道
- 鉄道

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 蕨駅西口地区整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○